



2025 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤原宏樹
(コード番号 6573 グロース)
問合せ先 取締役 CFO 野口敦司
(TEL 03-6435-7130 (代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025 年 2 月 14 日に公表しておりました 2025 年 12 月期（2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日）の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	683	△165	△188	△174	△5.93
今回修正予想（B）	756	△214	△223	△177	△6.22
増減額（B-A）	73	△49	△35	△3	
増減率（%）	10.6	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2024 年 12 月期）	455	△301	△320	△337	△13.98

2. 業績予想修正の理由

売上高予想修正のうち、当初見込みより減少する主な要因としては、まず 2025 年 8 月 13 日付「2025 年 12 月期第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、子会社である株式会社インプレストラベルにおける第 3 種旅行業登録完了の遅れから営業開始のための諸準備

が予定より遅延し、営業活動にも影響が生じました。この結果、旅行事業における売上高が当初見込みより 187 百万円下回る見通しとなっています。

他に、アンバサダー事業において営業の遅れ等から、当初見込みより 44 百万円下回る見通しです。なおアンバサダープログラムの導入件数は当初予想である 15 件で修正はございません。

一方で、当初見込みより増加する主な要因としては、2025 年 3 月 13 日付「株式会社 cadre の株式取得(子会社化)に関するお知らせ」にて公表した当社連結子会社である株式会社 cadre の売上額、2025 年 5 月 26 日付「株式会社 sayuri - style の株式取得(子会社化)に関するお知らせ」にて公表した当社連結子会社である株式会社 sayuri - style の売上額、及び 2025 年 9 月 30 日付「連結子会社による事業の一部譲受及び新たな事業(リユース事業)の開始に関するお知らせ」にて公表した、連結対象子会社である BTC リンク株式会社によるリユース事業の売上額(※)等その他、合計 305 百万円が当初見込みより上回る見通しです。

※同事業に係る営業利益につきましては、のれん償却費(当期見込み額 2,520 千円)の計上により相殺されるため、営業利益への影響は見込んでおりません。

以上により、売上高が前回予想を上回る見込みとなりました。

営業利益につきましては、他事業に比べ利益率の低い小売業の売上構成比が当初通期見込みの 27%から 63%と増加したことにより全体の利益率が低下したことが主な要因となっています。

これらの要因により、営業利益および経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、現在当社で保有しているビットコインの評価損益については、上記業績予想に見込んでおりません。

以上により、前回発表の業績予想に比べ、売上高は増加し、営業利益及び経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ損失拡大する見込みとなったので、今回の業績予想の修正を行うことといたしました。

なお、業績予想の修正が本日となった理由は、連結対象子会社である BTC リンク株式会社による株式会社玉光堂リユース事業一部譲受け(2025 年 9 月 30 日開示)後に、当該事業を含む全ての事業においての影響について改めて精査を行った結果、業績予想の修正が必要であると判断したためです。

(注) 上記の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能

性があります。

以上